「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート(A:裁量有)

記入日 令和 2 年 7 月 10 日

重	業	名 称						thts	或牛	活支援事業	≱書[移動	支援事	10人に	טיירו ר	Z +		
		 . 科目	款	3	 民生費	事	項	1		t会福祉費			4			 掛	事業番号	6
		- Ten Line Line Line Line Line Line Line Li		<u>) </u> 市単独		助対象									の(市の上乗			
	_		_	中华		福祉	<u> </u>	課					317-246	係	課長名	(2007)	 大法 努	
												<u> </u>						
ر0_	この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段で							C 9	語すか。施 策 番 号 2 ー総 合 計 画 書						3			
【施	策名	3】障害	者福	祉の推	進									गिया	ロ ii 凹 (ページ)		55	
	_				しています							象数や量を、あらわすもの						
		はく身体1 ・精神障害⁵		吸の車枠	奇子利用者、	子利用者、視覚障害者)・知				対象となる障害者数(身体(肢体不自由 1・2級、視覚障害) 知的・精神障害者)							害)	
	● ●をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]								.]	② ② の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 利用者数/対象となる障害者数								
\overline{C}	障害児・者への移動支援を行うことで、社会生活上必要 不可欠な外出や余暇活動等の社会参加を促す。									利用有数	ע אַ	家 こ	るのほ	2619	έX			
の																		
仕事																		
の	െ	ス のたれ	トール	コたし:	ましたか。					2 6 5.	ب س	/ [<u>.</u>]	ン行い	= 1. <i>t</i>	こか (活動	だ押ノ		
	_				まりにが。 害児・者にタ	対して、i	市に登得	録し		利用者数		\ D(/ 11J V	<i>a</i> 0/	こり, (泊勤	指标人		
的	た	業所が移	助支护	爰を行う	うヘルパーを	を派遣し	た場合、	、給		13/13 🗆 🗴								
	19 隻	で文章の	9CC	_ C 、 Þ	章害者の社会	5分別で1	疋進 9~	ටං	_									
									 引の実績		1	当該年度		成果目標				
				単位				平成30年度実績		3	平成31年度実績		令和2年度目標 令和3年度目標		目標			
2	対象指標 Tp数値					2,248		2,301			2,337							
	刈家拍標					2,240		٥		2,001		2,001						
指標	成果指標			の数値	i %		8.8		8.6		;	7.8						
かの				カロ煙(
推	E	目 標]	②の目標値														
移		- ,,																
	汪	動指標	ß	の数値	i 人		19	7		198				183		/		
3経費	-	事業費(実績)			円				43,864,626			42,292,916		┪※人件費の所要人数は、基本的には				
	財	一般財源			円					623,626		21,637,916		ついては時間数での表示も可としま		仕事に ます。		
	財源	特定財源	_{E知源} (うち受益者負担)		円 円	20,12	21,00	0 2	21,2	241,000		20,655,000) その場合単位を「時間」に変更してくだ さい。			てくだ	
	1		クマ金を負担 <i>)</i> (再仟用以外)			0.5		0.5			0,5		人件費(再任用職員以外)					
	人件費	771247 12711	、数(再任用以2N) 、数(再任用)		十 <u>六</u>	0.5			0.5			0.5		- 時間単価は、 4,300 円				
	(E		人供養(再任用以外) 人件費(再任用以外)		_	4,126,500		0	4,122,000			4,155,000		」 で計算してください。 ○ 【算出根拠】平成30年度決算数値。				
	安		環ズロ質(中は用以外) 損人件費(再任用)		円	7, 120,000		-r, 1 ZZ,000			1,100,000		/_ (退職手当組合負担金、共済費も含む 		ぎ。)			
	事業費+人件費				円	47,470,212 4		47,986,626		;	46,447,916		1					
	(1)開始年度 18 年度														1			
4	(2) 環境の変化																	
環	(2/ 珠班V/攵IU																	
境 変	・支援費制度で知的障害者に対象が広がり、飛躍的に利用者が増えた。その後、児童の利用も増えている。																	
化	• 7	平成23年	F10														いる。 ったため、対	过象
等	刮	はやや減っ	た。															

事業	名	称	地域生活支援事業費[移動支援事業]								
担当部署	• 課長	長名	障害福祉	課	障害福祉	係	課長名	大法 努			

中の	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について								
民等 6	・事業所登録数は30カ所を超えているが、定期的なサービスでないため、時間や内容によってはヘルパー派遣ができないケース もある。派遣の条件や利用時間制限について、緩和を求める声がある。								
の意見									
兄									
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、 取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)								
6	取組手法:								
市民協	【取組手法の種類】 ① 取り組まない ① 共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()								
働	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点								
	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題(3)を転記)								
	長期休暇の時期など一時的に移動支援の利用が増える方にとっては利用しやすいようになったが、恒常的に上限まで利用している 方にとっては、いまだに時間数の不足という課題は残っている。								
7	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。								
課題	・時間数の不足に対しては、給付費が増加することもあるため、適切に支給決定事務を行うにとどまっている。 ・ヘルパー不足に対して、市で移動支援従事者養成研修を実施した。								
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)								
	・移動支援の時間数については、今後も近隣市の状況を注視し、課題改善の取組を行う必要がある。・ヘルパー不足については、移動支援に限ったことではないが、継続的に養成研修を行う必要がある。								
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)								
	施策名: 障害者福祉の推進								
	▽ なっている □ 環境の変化等により成果が減少している □ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名:)								
	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)								
	□拡大 □現状維持 □縮小 □休止 □廃止								
9									
今後の方	・適切な支給決定事務を行い、利用者が使いやすいように制度の見直し等を行う必要がある。								
白	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等								
性	・養成研修の実施に当たり、国や都の補助を活用しなければならないが、一定程度市の支出が生じる。								